

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103417号
法人名	社会医療法人 天陽会
事業所名	グループホームさくらじま
所在地	鹿児島市野尻町49-1 (電話) 099-245-0818
自己評価作成日	平成25年10月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年12月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

設立後10周年を迎える。自然に恵まれた立地の中、隣には母体となる病院があり、利用者は、リハビリに通ったり外来に来られる地域の知人と交流したりしている。また、夜間や緊急時など病院との連携が容易であり、利用者も家族も安心して生活できるグループホームである。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島のシンボル桜島の雄大な自然の中に、母体法人の病院と共に敷地にホームは立地している。利用者は隣接の母体法人経営の病院にリハビリに通ったり、来院したりしており、地域の知人との交流がある。また定期受診やリハビリ・急変時の対応支援や災害時の連携も図られており安心して過ごせる環境である。職員の研修や勉強会も母体病院と共に計画されている。また資格取得にも熱心であり、日常的にサービスの質や介護の技術の向上に努めている。管理者を含め職員一同は笑顔をもって接し、利用者も家族も安心して過ごす事が出来るホームにしようとケアに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	日常的に理念を意識したサービスが実践できるようリビング内に大きく理念を掲げている。	リビング内に掲示され、職員で理念を共有し実践に繋げている。ミーティング時に皆で話し合い「人とのつながりを大切にしよう」と項目改正をした。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣の児童擁護施設との交流会を継続し小学校の運動会にも参加させて頂いているが、以前に比べると地域行事への参加が少なくなった。	地域からの職場体験の受け入れやボランティアもよく来訪している。昨今は降灰の為外出が困難になったが、母体である病院に診察に来られた方々と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	民生員さんの会合や地域内の小中学校の職場体験等を通じて認知症への理解を深めて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況報告や事業所での出来事など現状をありのままに報告し様ざまな意見を取り入れながらサービスの向上に努めている。	2ヶ月毎に会議を開催している。家族には交代制で参加してもらっている。民生委員からの報告や利用者の現状報告、また意見交換などしながらサービスの向上に努めている。会議の内容は議事録に記載され、広報誌でも知らされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加を頂き、様々なアドバイスを頂いている。また、要請時には相談員の受け入れを実施し相互の協力関係を築いている。	運営推進会議にも参加してもらい市担当者とは連絡を密にして相談など協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な勉強会を実施し、事業所内の介護の現状について振り返りながら身体拘束のないケアに努めているが、利用者の不穏時など、玄関に施錠せざるを得ない状況も発生している。	「身体拘束委員会」で職員の研修も実施している。利用者に配慮して玄関を施錠することもあるが、常に目配りをしながら自由な暮らしのケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時の全身状態のチェックや看護師による健康チェックをもとに身体状況の確認が相互に行えるよう注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人に関する相談に出かけたり、社協の支援制度の利用について、家族、包括支援センターを含めた話し合いを行うなど必要に応じた支援を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用契約書や重要事項説明書などの書面を用意し利用者や家族の納得を頂けるよう十分な説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会での担当者との面談や面会時の懇談会などを実施している。また、運営推進会議には、毎回交代で家族代表にも出席してもらい忌憚のない意見を頂けるよう努めている。</p>	<p>災害に対しての不安なども家族会で説明している。面談時に聞いた意見なども運営に反映させている。毎月発行しているホーム便りで状態等を知らせている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティング時に運営や業務に関する意見、提案を聞き検討、改善に努めている。</p>	<p>月1回のミーティングで運営に関する内容の意見・提案が出ると、改善策を話し合い、以後の運営とケアに反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>半期に一度人事考課を行い勤務状況についての振り返りの機会としている。また、不定期ではあるが管理者との個人面談を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>教育研修委員会が年間計画に沿った勉強会を毎月実施し、スキルアップ研修などの外部研修にも積極的に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内での勉強会へも出席しているが、サービスの向上につながる他事業所との交流の機会が持てていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族の協力をいただきながら、本人との会話を通じて少しずつ信頼関係や馴染みの関係が築けるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>これまでの経過や家族の要望を十分に聞き入れ出来るだけ満足いただけるサービスが提供できるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>主治医からの医療的な意見等をもとに隣接する病院でのリハビリの実施や食事についての栄養士の意見などもサービスに反映できるよう検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>食事の準備や後片付け、洗濯等についてもそれぞれの力量に応じて手伝ってもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者それぞれに担当者を置き、年3回の家族会参加の呼び掛けや面会時の面談、必要時の電話連絡などで情報交換し利用者を共に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話での会話や本人の望む場所への個別外出などを実施し、受診やリハビリの際にも地域の方との会話を楽しめるよう支援している。	家族同行で馴染みの美容室へ行かれる利用者や訪問サービスで散髪の方もいる。利用者の望む場所へ個別で外出したり、その関係継続のケアに努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個室に引きこもることなく出来るだけ共有のリビングで過ごせるよう声かけしレクリエーション等も相互に関われるよう時々席を替えたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで退所になった利用者様については職員がその後の状況を御家族に電話等で尋ねたりお見舞いに行ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中から本人の思いや要望に添えるように努めている。また相談員の受け入れなど客観的な意見も取り入れるようにしている。	日々の関わりの中で本人の意向や思いを把握している、困難な場合には家族からの聞き取りや日常の様子の中から意向を把握している。市の相談員が利用者全員から聞き取り報告し、情報を共有し支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族に尋ねながらこれまでの暮らし方、生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック表や介護記録には職員全員が必ず目を通し利用者の心身の現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月2回の検討会を実施し、課題と解決方法についての話し合いを行い現状に即した介護サービスが提供できるよう努めている。また、必要時には、家族への連絡も行っている。	月2回の検討会には各担当者も参加し、本人や家族の意向を基に介護計画を作成している。計画書の見直しで現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者それぞれに担当者を設け、毎日の介護記録をもとに経過記録を作成しながら、ケアサービスの現状把握に努め、介護計画の見直しに役立てるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	リハビリや服薬、食事等についても専門家からの指導や意見を聞きながら、その時々ニーズに即した支援を行っている。また、状況によっては、専門外来への付き添いなども支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの受け入れや駐在所、消防分遣隊との協力関係も築いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接した病院での定期受診のほか、緊急時などは、ご家族と協力し主治医、専門医などその都度適切な受診が行なえるよう支援している。	ほとんどのかかりつけ医は母体の病院である。月2回の定期受診を受け、臨時的受診の時には付き添い、受診の結果は家族に報告している。緊急時にも適切な受診が行なえる様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回、看護師による利用者の健康チェックを実施し、急変時にはすぐに相談し適切な受診や対処ができるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	利用者の入院時には、書面での心身の状態報告を行い、その後についても相互の情報交換に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	身体的なレベル低下が顕著な利用者については早い段階で話し合い、医療機関の協力のもと、出来るだけ、本人、家族の希望に沿った対応が出来るよう支援している。	既に看取りの経験はある。重度化対応・終末期ケア対応は入居時に本人や家族とその指針を文書で取り交わしている。本人や家族の希望に沿った支援が出来るよう取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急対応マニュアルを常備し定期的な勉強会を開催。吸引器の取り扱いについても講習会を受けたが、すべての職員が応急手当などの実践ができているとは言えず、繰り返しの訓練が必要である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>2月の家族会で爆発時の避難について説明会を開催。全職員で防災マニュアルの見直しなどを行なった。</p>	<p>年2回昼夜想定での火災避難訓練を実施している。桜島爆発時の初期活動や避難誘導なども説明会を開催している。備蓄の確保も出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に努力はしているが、煩雑な業務に追われ利用者本位の対応が出来ていないことがある。	接遇委員会を設置している。プライバシー保護の研修も実施し、言葉遣いなど利用者本位の対応支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の理解力に合わせた言葉かけや傾聴を心がけ、物事の選択の場面では出来るだけ本人の自己決定ができるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝時間も利用者の希望に沿って対応している。また、体調や気分によっては居室内で自由に過ごして頂くこともある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出時や母の日などは、特別に化粧やおしゃれを楽しんでいただいたりしている。また、利用者の希望で散髪したり、髪飾りを付けたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれのランチョンマットを用意、好き嫌いに応じたメニューの変更を行なっている。また、利用者の力量に応じて台拭きや片付けなどもお願いしている。	年3回、外食の機会を設け、少グループにわけ実施している。弁当持参で花見などに行くこともある。動ける方には台拭きなど手伝ってもらっている。誕生日には本人の好きな食べ物を聞いて提供するなど食事を楽しんでもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事や水分の摂取量を記録し管理、なるべく自力摂取できるよう個々に応じた食事形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食ではないが、就寝時は必ず口腔ケアの声かけ、介助を行い義歯使用の方には、洗浄剤を使って頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の生活リズムに合わせたトイレ誘導を行い、本人の力量により出来ない部分を介助するよう心がけている。	バイタルチェック表で排泄パターンを把握し、トイレへと誘導している。オムツからリハビリパンツへと改善された例もある。見守りと一部介助で自立支援を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	頑固な便秘に悩まされぬよう排泄の記録をチェックしながら、乳製品や繊維質の多い食品を取り入れたりとそれぞれに工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の体調に合わせて週3回以上は入浴できるように臨機応変に対応し、利用者の「浴槽につかりたい」と言う希望にも添えるよう努めている。	本人の希望や体調に合わせて週3回以上の支援をしている。必要な方には二人介助もしている。バスボードやキャリーボードの活用で入浴を楽しめる様支援している。職員は入浴介助の勉強会にも参加している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々体調により、本人の希望の場所で休んでいただいたりしている。また、夜間は室温調整にも配慮して安眠を妨げることのないよう注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ホームで使用している薬剤については、薬剤師による勉強会を実施し理解を深めている。また、処方箋は個々の介護記録にファイルし、いつでも確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の好きなこと、得意の分野でレクリエーションを選択したり、ドライブなどで気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なるべく、本人の希望に添えるように少人数での外出を計画したりしているが、今年は降灰の影響もあり外出の機械が少なくなった。	以前は、墓参りや近隣の子供達との散歩などしていたが、近頃は、桜島の降灰状況を考慮しながらの外出計画となっている。本人の希望があれば戸外への外出を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理の可能な入居者についてはお任せしている。また、希望がある時はいつでも預かり金の中からお渡しし、自由に使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望がある時はいつでも電話をかけられる体制は整っており、贈り物のお礼などこちらから連絡を入れるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビング内には、季節ごとの展示物や装飾品を飾ったり、好みの音楽やテレビを楽しんだり、ソファでくつろいだり利用者が好きなように過ごせるように支援している。また、今年は、壁や床の張り替えなども行い、より安全に過ごせるようになった。</p>	<p>昼間があり明るく広い作りになっている。広いリビングには写真や手作りの作品が飾られている。ソファが置いてあり、いつでもゆっくりと居心地よく過ごせるようになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>広々とした空間の中で、それぞれが自由に自分の好きな場所でくつろげるように、家具の配置にも気を配っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の希望に応じてベッドやタンスの位置を変えたり、換気や室温調節にも配慮して心地よく過ごせるようにしている。	本人や家族の希望に応じて家具の配置を行ない居心地のいい部屋作りをしてもらっている。仏壇を置くなど、使い慣れたものや好みの物なども持ち込んでもらい居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は安心して移動ができるように手すりが設置され、歩行や車椅子の走行を妨げない広さが確保できている。また、居室入口には表札があり室内のカーテンの色やベッドの配置なども違っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない